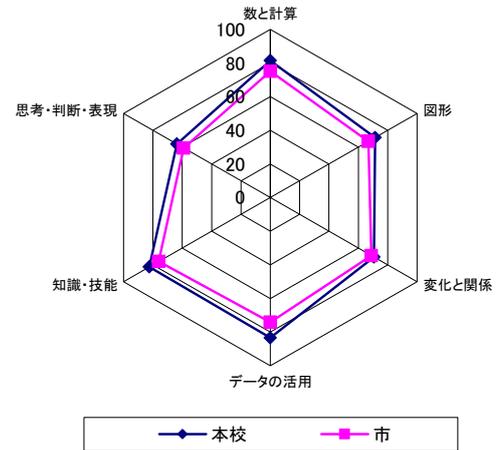


# 宇都宮市立桜小学校 第6学年【算数】領域別／観点別正答率

## ★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	数と計算	81.4	75.1	75.8
	図形	71.4	66.8	68.3
	変化と関係	70.6	68.8	65.0
	データの活用	83.3	74.1	63.6
観点別	知識・技能	82.5	76.1	75.8
	思考・判断・表現	63.7	59.0	51.7

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



## ★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
数と計算	○数と計算の問題では、ほとんどの問題で市の平均正答率を上回った。 ●分数のわり算の計算では、市の平均正答率を2.1ポイント下回った。	・分数の計算を確実に身に付けるため、継続して基礎的な計算練習をするなどして復習を行う。
図形	○三角形の外角を求める問題や角柱の体積を求める問題などでは、市の平均正答率を大きく上回った。 ●円の面積や正六角形の角の大きさに関する問題では、市の平均正答率をやや下回った。	・面積や体積を求める公式を使って、直径を与えられた円の面積を解くなどの様々なパターンの問題を解くことにより応用力を高める。 ・正多角形と円との関係についての問題を繰り返し解くことにより、習熟できるよう指導する。
変化と関係	○速さと道のりから時間を求めたり、基準量と比較量から割合を求めたりする問題では、市の平均正答率を上回った。 ●表から面積と数の割合を求めて考察する問題では、市の平均正答率を2ポイント下回った。	・割合の求め方を再度確認するとともに、記述式の問題にも多く触れさせ、繰り返し問題を解くことで習熟を図る。
データの活用	○平均・データの見方の問題では、すべてにおいて市の平均正答率を大きく上回った。	・平均やデータの見方についての文章問題に継続して取り組み、問題の場面を理解しながら解くことができるよう指導していく。